



令和6・7年度
活動テーマ

対話からの気づきをおくりあおう



皆さまの日々の取組に感謝！

教育委員会事務局学校支援課長 中曽根 聡

この4月に、教育委員会事務局学校支援課長に着任しました。

私は、社会教育主事として、これまでも青少年委員の皆さま

と苦楽？を共にさせていただきましたので、まずはこの場をお借りして、日々青少年教育の振興のため各地域で黒子となつてご尽力いただいている皆さまに、心から感謝の気持ちを伝えさせていただきます。

さて、私が皆さまの活動と身近に接してきて素晴らしいと思うことは多々あるのですが、杉並区教育ビジョン2022に掲げる「私たちが大切にしたい教育」と結び付けて、以下三点、お伝えしたいと思えます。

一点目は、探究心を大切に様々な機会を捉えて日々学び、ご自身の世界を広げていることです。

ここ数年の取組を振り返ってみても、ミニ・ミュンヘンの事例を通して子ども主体のまちづくり活動のこれからの考えたり、不登校支援団体や子ども食堂運営団体と交流し課題の共有を図るなどしてきました。

二点目は、40名の個性豊かな委員同士、お互いのちがいを認め合い、個性を大切にしつつ、相互に協力し合う協議会を組織して共同活動をしていることです。活動テーマ「対話からの気づきをおくりあおう」のもと、ちがいを超えて自らつながりを育み合う姿は、次代の自治のカタチを予感させてくれます。

三点目は、子どもも地域を共に創っていく仲間と捉えて、主に中学生が、よりよい地域や社会とは何かを考え自ら実践する機会を作り出そうとしていることです。

これからも、みんなのしあわせを創る杉並の教育を、子どもも大人も一緒になって豊かに育て続けるために、共に手を携えていきましょう。

「みんなのしあわせ」を実感

学校支援課 家庭・地域教育担当係長 宮本 園子



青少年委員の皆様には、日々、子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただき深く感謝申し上げます。

青少年委員が事務局を担っている地域教育連絡協議会・地域教育推進協議会。その活動に触れる度、皆様の子どもたちに対する暖かい眼差しや、家庭・地域・学校のパイプ役としてまとめられている姿には、頭が下がる思いです。

子どもたちの自主性を引き出しながら、学校と地域の協力を得て「つながり」や「かかわり」が生まれていく様子は、たくさんの糸を一つの束にしてふわりと結んだ”水引”を彷彿とさせてくれます。

一人ひとりの個性を輝かせながら一つの美しい束の結び目になり、人や時代の変化に合わせて結び直すことで多様な形状が作られていると感じたのです。

発表会等の場では、舞台上立つ子どもたちだけではなく、その活動に参加した子ども・地域の大人もまた、喜びに満ち溢れていました。その活動の様子を拝見し、「杉並区教育ビジョン2022」の目的「みんなのしあわせ」が体現されていると実感しました。

教育委員会事務局も皆様と手を携えて「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の実現に向けて邁進して参ります。青少年委員の皆様には、今後も引き続き杉並区の教育行政へのお力添えを賜りますようお願いいたします。

第74回 社会を明るくする運動 推進イベント ひまわりフェスタ

令和6年7月15日(月・祝)
セシオン杉並

「ひまわりフェスタ」が5年ぶりに開催され、多くの方が来場しました。会場にはパネル展示や手づくりコーナー・白パイの乗車体験等があり、ホールでは村木厚子氏の講演が行われました。私たち青少年委員は缶バッジづくりコーナーを担当し、楽しい時間を過ごしました。



(岡田 美津江)

実技研修

令和6年7月18日(木)
杉並区役所 第4会議室

講師：合同会社Active Learners 山之内 凛太郎 氏
テーマ：企画するのが楽しくなる！懇談会のつくり方

はじめに学校支援課より“教育委員会が考える地教連・地教推の懇談会について”の話があり、その後、講師より自分たちが楽しいと思える懇談会を作る方法についてご指導いただき、懇談会形式で研修会が行われました。



(芦 秋子)

委員研修

令和6年9月19日(木)
杉並区役所 第4会議室

講師：明星大学 理工学部総合理工学科 特任教授
地域学校協働活動推進員 由井 良昌 氏

テーマ：中学生の居場所と出番
—子どもの力を引き出すには—

体験活動をした子は“心が豊か”であり“自己肯定感が高く”“道徳心が高い”傾向が見られると、体験活動の重要性が語られました。また、子ども自身が課題を決める主体的な学びの授業例が紹介されました。



(佐藤 幸子)

社会を明るくする運動 駅頭広報活動

令和6年10月3日(木)・11日(金)
JR荻窪駅ほか3駅(区内4駅)

社会を明るくする運動とは、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい地域社会を築こうとする、法務省が主唱する全国的な取組です。青少年委員も区内の駅頭で中学生の有志と一緒に参加しました。



(横田 智子)

第61回 ふれあい運動会

令和6年10月12日(土)
杉並第十小学校校庭(蚕糸の森公園運動場)

快晴の中、障害のある方もない方も楽しめる「ふれあい運動会」が杉並第十小学校で開催されました。元気にポンポンを使ったポン体操をした後、競技が始まりました。どのチームも応援に熱が入り、大きな歓声が小学校のグラウンドに響きました。



(小林 朱実)

第15回 すぎなみ舞祭

令和6年10月20日(日)
下高井戸おおぞら公園



今年の『すぎなみ舞祭』は36チーム、約550名ものダンサーたちが集結しました。晴天の下、大勢の人々が集う会場は活気に満ち溢れ、まさに地域が一体となった感覚でした。笑顔で出番を迎え、舞台へ出ていく子どもや、出番を終え、清々しい顔で友達と会話している子どもなど、彼らの多彩な表情が会場をより一層明るくしていました。子どもたちの自主性や社会性を育む杉並区ならではのイベントだと改めて感じました。

(瀧口 志保)

杉並区中学校対抗駅伝大会2024

令和6年12月8日(日)
都立和田堀公園第一競技場(和田堀グラウンド)

晴天の下、区内の24校と南相馬市から招待チームが参加しました。青少年委員は開閉会式の誘導等のお手伝いをしました。出場する選手以外にも多くの中学生が集まる大会に関わることができ有意義な時間になりました。



(丸山 麻由)

自主研修

令和7年1月16日(木)
日本銀行本店、貨幣博物館

日本銀行本店と貨幣博物館を見学しました。日銀本館は明治時代の建物で、装飾や地下金庫など見どころが満載でした。貨幣博物館も古銭や藩札といった展示が充実しており、お金と社会について考える契機となりました。

(毒島 さつき)

第23回 すぎなみ名物ファミリー駅伝

令和7年2月23日(日)
蚕糸の森公園運動場

5年ぶりに従来の開催規模で行われました。44チームが参加し、暖かい日差しの中皆さん笑顔でレースを終えました。参加された方々に元気をいただき、良い経験となった1日でした。



(山崎 友香)